

## 「農と水の故郷フェア'09」

(農と水の故郷フェア実行委員会)

愛知県農業土木測量設計技術研究会参加



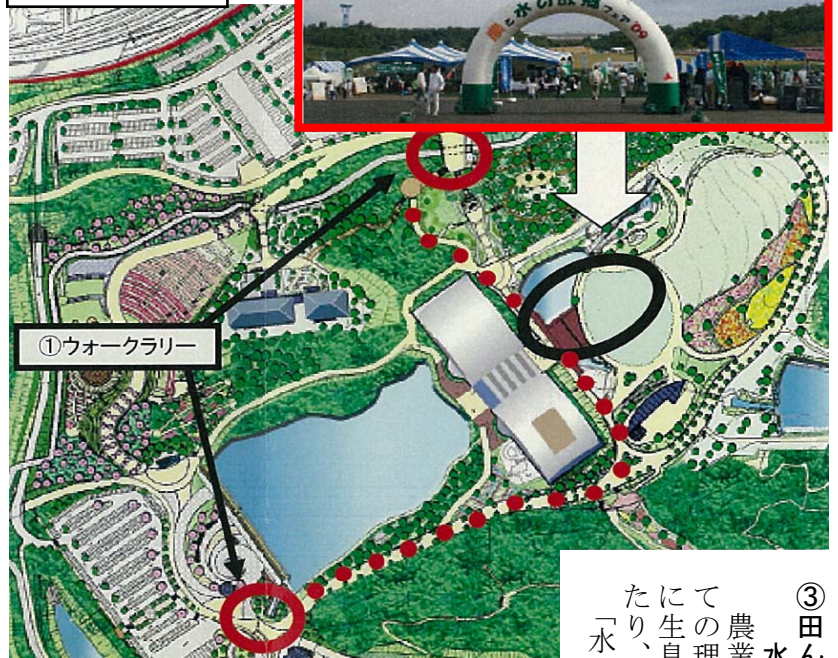
「のぞいてみよう、  
何が見えるかな」  
遠くのスタッフに貼り  
付けた絵を見つけてもら  
い、何の絵かを当ててもら  
いました。



「ボールよ、遠くまで飛べ！」  
投げたボールの距離を、光波測  
距儀で距離を測定しました。  
測定した記念として、投げた距離  
を書いた証明書を発行しました。

十月十七日(土)にモリコロパーク(愛・地球博記  
念公園)にて「農と水の故郷フェア'09」が、農と水の  
故郷フェア実行委員会の主催により開催されました。  
本フェアは、農業・農村の重要性と、その基盤を支  
える農地、農業用水、水源林などの役割・仕組みにつ  
いて、次代を担う子供たちを中心として、広く一般の  
方々の理解を深めていただくことを目的に、参加型イ  
ベントやパネル展示等が実施されました。  
当研究会では、下記【イベント内容】④の一環とし  
て、昨年に引き続き「測量実体験コーナー」を開設し、  
測量機器への触れあいを通じて、多くの子供とその保  
護者の方々に、測量への理解を深めていただきました。  
当日は、朝からの小雨混じりの曇り空にも拘わらず、  
約二百名の方々に体験していただくことが出来まし  
た。

## 会場概要図



## ①ウォークラリー

## 【イベント内容】

## ①クイズウォークラリー

北コース約400m、西コース  
約500mを、農業用水や水源林  
に関するクイズを解きながらゴー  
ルをめざした。

子供達にコップの水をスター  
トからゴールまで運んでもら  
った。

## ②水源地域との交流

水と環境の学習会(上流地域、下流  
地域の小学生による発表会等)、水源  
地域の物産展などを実施した。

「物産展」「チェーンソーアート」  
「かんきょう学校」



ANDK 会ブース

③ 田んぼの生き物展・  
水田魚道展示

農業用水が育む生物環境につい  
ての理解促進を図るため、田んぼ  
に生息する生き物に触れてもらっ  
たり、水田魚道を見てもらった。  
「水田魚道」「田んぼの生き物展」

④ 日本の食料・農業農  
村整備事業の体験  
学習コーナー

「食に関する危機感、  
関心からNNの必要性  
を「実感」をテーマに、  
学習コーナーを提案実  
施した。  
「食料消費」、  
「生産基盤」、「防災」

## ⑤ パネル展示

農地、農業用水、水  
源林などの役割、仕組  
みについて理解しても  
らうため、パネル展示  
を実施した。

## ⑥ 田んぼの生きものクイズ

田んぼが持つ豊かな自然環境への  
理解促進を目的に、田んぼの生きもの  
に関するクイズを実施した。  
「田んぼの生きものクイズ」



# ☆☆ 勉強会及び技術研修会開催 ☆☆

ANDK

かわら版

Vol.10-2

## 【勉強会】

九月十五日（火）に愛知県土地改良会館大会議室において、農業土木技術者としての広範な知識の習得に努める事を目的とし、「生物多様性とCOP10」と「新エネルギーによる発電技術」についての勉強会を開催しました。

今後の社会の方向性を示す話題に、百十名を超える多くの方々のご参加をいただきました。

「生物多様性とCOP10」  
生物多様性条約第10回締約国会議  
支援実行委員会

浅田 孝男 事務局次長  
「新エネルギーによる発電技術」  
バイオマス発電技術

中部電力株式会社  
技術開発本部 電力技術研究所  
田中 雅 研究主幹



勉強会会場

## 【技術研修会】

### 「技術研修会 Part 1」

七月二十三日（木）に、愛知県土地改良会館大会議室において開催しました。若手技術者が関与した農業農村整備事業の設計課題について発表能力の向上と技術力の一層の向上、動植物に配慮した設計計画の技術力向上を図る目的で開催しました。

会員各社の技術者をはじめとする約百三十名のご参加をいただきました。

#### I 部

「チェックスタンド工の設計について」  
アローコンサルタント株式会社  
今枝 義隆

「絶滅危惧種カワバタモロコを救う」  
水路改修工法  
若鈴コンサルタツ株式会社  
中尾 金幸

「基幹水利ストックマネジメント」  
株式会社 葵エンジニアリング  
佐々木 敦朗

#### II 部

「動植物に配慮した設計計画について」  
愛知県農林水産部 農林基盤担当局  
農地整備課

中根 俊樹 課長補佐

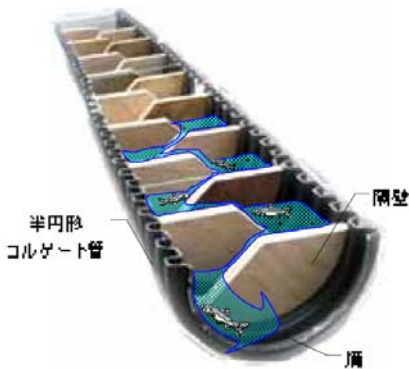


(750kW × 20基)

新エネルギー（風力発電）



環境配慮型水路改修（階段護岸）



水田生態系を考慮した魚道（水田魚道）

### 「技術研修会 Part 2」

十月二十日（火）に、愛知県土地改良会館大会議室において開催しました。公共事業予算の削減が続く中、農業農村整備においても環境問題が重視されてきており、水田生態系の保全技術等について学習し、時代に即応した設計が出来るよう、技術力向上を図る目的で開催しました。

会員各社の技術者をはじめとする約百名のご参加をいただきました。

「水田生態系の保全技術」

～営農との共存を目指して～

岐阜大学応用生物科学部

生産環境科学課程 環境生態化学コース

伊藤 健吾 准教授

「水田生態系のネットワークについて」

愛知県農林水産部 農林基盤担当局

農地計画課

高木 浩孝 主任主査



技術研修会会場（Part2）